



第13号

発行 平成19年7月28日

茨城県立図書館

ボランティア協議会広報委員会

文責 土屋 純子

かがやき

目次

茨城県立図書館ボランティア全体会

19年度 分野別活動計画

こども読書フェスティバル

～ こいのぼりの泳ぐ空 ～

～ 五月晴れのオープンカフェ ～

協議会からのお知らせ

ちょっといいはなし

ご支援ありがとうございます

悲しいお知らせ

歴史講演会

編集後記



ボランティア全体会報告



茨城県立図書館ボランティア全体会

日時：平成19年5月31日(木)

場所：茨城県立図書館3F会議室

この会合開催の目的はボランティア全員と図書館全職員が一堂に集合し、今後の図書館利用者へのサービス向上を期待しての会合です。

3階の会議室は、新しく仲間になったホヤホヤの児童読み聞かせサービスの面々が30人ほど出席しており、ボランティアは100人近くの出席でした。図書館側は館長以下ほとんどの職員がずらりと並んで、なかなかの顔見世というか対面式のような会合でした。年に1回でも、大切な有意義な会合であり、無くてはならないセレモニー

と申せましょう。館長挨拶、各課ごとの職員紹介、各委員会役員紹介、図書館概要説明、ボランティア協議会からの説明事項など会合は順調に推移しました。

現在の大きな問題点としては、ボランティア協議会に自己資金がほとんど無いことです。茨城県財政の苦難状況から、図書館会計も厳しい運営を強いられるでしょう。したがって、わたくしどもボランティア協議会は今後の研修会、勉強会、諸材料費など必要経費をどのように確保していくかが、課題となりましょう。

今年度の行事予定として、

1. ボランティア研修会
(図書館主催) 内容、未定
2. いばらき読書フェスティバル2007
(図書館主催)
期日：平成19年10月28日(日)

3. ボランティア見学会

行く先：検討中。時期：11月
(後に決定しましたので、協議会からのお知らせの項を読んでください。)
その他については、ボランティア室机の上に置いてあるボランティア全体会の印刷物をご覧ください。

〔広報 上條 哲〕

平成19年度 分野別活動計画

代読サービス

対面朗読依頼者への対応
録音図書製作
講師による研修会(10月20日)
全国音訳ボランティアネットワーク
設立総会への参加(6月8日)
NHK巡回朗読セミナーへの参加
読書フェスティバル開催時の
古本マーケット
漢字勉強会の実施(6月初回、年に3回)



資料配架

返却本の配架
書架整理
年1~2回の懇談会実施



三の丸書庫

配本車終了に伴う返却資料整理
及び新しい三の丸書庫の運営
図書修理及びブッカー作業
書庫清掃及び書架整理



児童サービス

班長会議 毎月第4日曜日実施
新人勉強会、研修会
児童生徒との個別対面朗読会
小学校低・高学年、中学生を対象に朗読
半年間の活動の反省と後半の活動計画の
検討(11月第2日曜日)
研修会(7月7日)
歴史講演会
「二人の名君と水戸の歴史」



広報

広報「かがやき」の発行年3回
(通信費の公費負担の限度)
内容はより一層の
充実を図る
編集会議は必要に
応じて開催



図書修理

綴じが切れた本、
ページがはずれた本、
表紙と中身がバラバラに
なった本をそれぞれに
適した方法で修理を行う



特技を活かしたもの

広報紙作製の支援
ライブラリーパソコン教室の
アシスタント
図書館職員のパソコン
技能向上支援



郷土資料整理

古文書解読及びデータ作成
(主に在宅活動)

打ち合わせ

古文書解読の進捗状況の確認

(4月、5月、9月、平成20年3月)

勉強会(6月)

古文書解読における注意事項やノウハウについての意見交換



外国語資料整理

寄贈外国語資料のデータシート作成
茨城県立図書館ホームページの

外国語データシート作成

外国語資料の充実を図る

ための購入図書のおすすめ

現在3名の会員なので

募集中



子ども読書フェスティバル



～こいのぼりの泳ぐ空～

青空の下、元気な子ども達の声が聞こえる。私は期待に胸を膨らませながらエプロンをつけた。

おはなし会が始まると、今まで目にしたことのない人数の子ども達が一冊の本に集中し、楽しそうな笑顔を見せてくれた。そんな子ども達を見ていると、なんともいえないうれしい気持ちでいっぱいになる。また、素晴らしい技術を持ったボランティアの皆様には多くの事を学ばせていただいた。

外のブースでも、楽しそうに参加する子ども達の姿があった。お母さんと一緒に自分専用のバッグを作る子。緊張しながら甲冑を着て、照れくさそうに写真を撮っても

らう子。竹とんぼやコマなどの遊びを「出来た!」と喜んでいる子。そんな彼らはとても生き生きとしていた。

今日はこどもの日、主役は彼らだ。今日体験した事を忘れることなく、大きく、豊かな人間になってほしい。そう願いながら閲覧室から階段を下りていくと、館内のこいのぼりが目に入った。ふと、このこいのぼりが青空高く、力強く泳ぐ姿が目に見えた。

一日が終わり、子供たちの声も少なくなってきた頃、私はエプロンを脱ぎほっと一息ついた。

〔児童サービス 藤枝 郁世〕

～五月晴れのオープンカフェ～

子ども読書フェスティバルが、5月5日に開催され、ボランティアのオープンカフェも恒例の場所に店開きしました。

五月晴れのとても暑い1日で、ホットコーヒーよりアイスコーヒーの希望が多くありましたが、われらがお店では、あいにくその取り扱いをしていなかったため希望に

添うことはできませんでした。冷たいジュースの売れ行き好調で、にわか店員は少しくたびれましたが無事に閉店することができました。おつりの10円硬貨が不足したり、1万円札の対応に手間取ったり、アイスコーヒーの希望に添えなかったりとこれからの検討課題もあります。

収支決算	
売上代金	18,330 円
材料仕入れ代金	15,849 円
差し引き	2,481 円

2,481 円をボランティア協議会の会計に繰り入れました。

〔広報 土屋 純子〕

ボランティア協議会からのお知らせ

茨城県立図書館ボランティア設置要項の改正のお知らせ

今般、ボランティア設置要項の一部が改正されたので、お知らせします。

(登録)第4条の5

次のいずれかに該当すると認められたときは、登録を取り消すことができる。

- ア 1年間参加活動が見られなかったとき
(1年間とは継続確認期の2月以前の1年間とする。)

注：長期間活動の無い場合の登録抹消を指向した改正です。

(ボランティア協議会)第8条

2 協議会に次の役員を置き、任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

(3) 会計 1名 (4) 監事 1名

6 会計は、ボランティア協議会活動資金について担当する。

7 監事は会計を監査する。

注：会計および監事の規定がなかったことからです。

ボランティア協議会副会長及び監事の交代

次の方がこの度新たに協議会の役員に就任されましたので、紹介します。

協議会副会長

益谷 さかえ (代読サービス)

協議会監事

木村 澄子 (三の丸書庫、資料配架)

ボランティア交流で来館

9月7日(金)、筑波大学附属図書館ボランティアの方たちが来館されます。館の見学、また主として代読サービス・図書修理のみなさんとの交流を希望されています。

ボランティア見学会

11月21日(水)に決定。

行き先は矢祭もったいない図書館です。

詳細については後日お知らせがあります。

秋の読書フェスティバル

10月28日(日)です。

代読サービスからのおねがい。

例年通り古書市を開きますので、お家に眠っている本を提供ください。売上金は勉強会のための講師謝礼金や資料代の一部にあてています。ボランティア室に箱が用意してありますので、よろしくお願ひします。

メールアドレスの登録を!

通信費削減のため、メールアドレスの登録をお願いしたい旨のお話がありました。普及課廣原さんまでご連絡ください。

図書館アドレスinfo@lib.pref.ibaraki.jp

「ちょっといいはなし」でした！！

何気なく視ていたテレビに視線がとまりました。

6月20日、NHK総合テレビ首都圏ニュース（18時から）のなかで、県立図書館ボランティアのみなさんが図書修理に励んでいる様子が放映されました。

図書利用者のモラル低下をとりあげた番組でした。本の切り取り、破損、汚れなどが各地の図書館共通の悩みになっている昨今、修理、修復は不可欠であり、われらがボランティアの修理技術は他から研修の申し込みが度々あるとの高い評価を得ています。

那珂市の図書館からも修理作業の見学がありました。

地味な作業ですが大切なこと、ボランティア仲間のひとりとして元気をもらった嬉しい出来事でした。

〔広報 金澤 鈴枝〕

ご支援ありがとうございます

～ 今年もロータリークラブから支援金 ～

2005年水戸西ロータリークラブから¥50,000を支援金としていただきました。2004年過日逝去された軍司 恭子さんが、朗読・録音班の研修会などに活動資金を要することから、ロータリークラブ所属の知人に同クラブからの支援を打診されました。これにたいし、図書館ボランティア協議会への支援金支出ならば可能とのことで、2005年に支援金をいただき、翌2006年には倍額の¥100,000をいただきました。

加えて今年も同額をいただける予定です。茨城県は1兆7千億円の負債を抱えての苦難状況、図書館も経費節減の圧力を受けざるを得ません。このような状況のもと、私たちの活動を認識され、支援金をいただけることはまことに有難いことです。水戸西ロータリークラブの方々に感謝申し上げながら、ボランティア活動のより活性化と成果向上に尽力したいと考えます。

〔広報 上條 哲〕

悲しいお知らせ

日頃、真摯な活動をなさっておられたふたりの方のご逝去のお知らせです。

大畠 新太郎さん 6月2日永眠されました。71歳でした。大畠さんの幼児・児童たちへ優しい眼差しでの独唱の余韻が、沢山の方の耳の奥に残っているのではないのでしょうか。ご葬儀は6月6日、日立市桜川町・日立サンプラザで行われました。

軍司 恭子さん 6月23日約5ヶ月の闘病の後、永眠されました。80歳でした。軍司さんは朗読、録音の部門で尽力され、ロータリークラブからの援助金の道をひらかれました。バプテスト教会（プロテスタント）の牧師の司式により、6月25日、水戸駅南斎場で告別式が行われました。



歴史講演会 満席で



『ふたりの名君と水戸の歴史』

講師 常磐大学教授 鈴木 映一氏

7月7日 県立図書館二階視聴覚ホールで児童サービスボランティア委員会と、茨城県央高齢者百人委員会の共同主催講演会を開催しました。

鈴木先生の講演の「さわり」を少々書いてみましょう。

わが郷土「水戸」の地名はどのような由来から「水戸」となったのでしょうか。徳川家康は「三戸」と記載した公文書に花押しており、家康は水戸の地名を知らぬままだったようです。那珂川と広大だった千波湖の港口の市街として「みなと」が短縮され、「水戸」と定着しました。

ねんりんピックのマスコットに可愛い黄門様が登場していますが、水戸黄門の生涯で旅らしい旅はわずか3回でした。西山荘に隠居後の藩内の巡回は佐竹氏の転封後の地域に居住していた元佐竹家臣の住居に特別に気配りしての行動でした。松下電器産業をスポンサーとして、延々と視聴率を確保しているドラマは明治時代以降講談師が広めて以来の完全創作物語です。ひとことで申しますと、光圀は若年から朱子学に基づき、南朝を基幹とした正調日本史編纂を生涯の課題としたと申せましょう。

水戸徳川藩というと「大日本史」とこだまのように応えられることが多いのですが、この大

作の歴史書には水戸藩の記述は全くありません。あくまでわが国の国体を勘案しての記述で、明治時代後期に完結したものです。光圀・斉昭の二人の名君には水戸の地に徳川親藩として定着するまでの様々な困難な経緯、藩主が参勤交代しない特別扱いをも含めての財政上の欠乏などを乗り越えた我が国土全体を視野にした賢察力、行動力がありました。加えて後期の斉昭時代には会沢・藤田のような俊才が藩主を補佐尽力し、わが国の将来を展望した思索・施策を実行、展開しました。吉田松陰が脱藩してまで、会沢氏に学問指導を求めて、水戸まで来ていたことも驚きです。斉昭が海岸防衛のために沢山の砲を鑄造し、これを幕府にそっくり寄贈してしまったことなど、学校時代の歴史の授業では知ることの出来なかった話でした。後日談によりますと、この大砲は試射をしないまま寄贈したのでした。実際に発射すると、砲身が割れてしまうものばかりだったということです。

21世紀の茨城県にはこのような国家的視野をもつ政治的人材が見当たらないといえるのではないのでしょうか。残念な状況ですね。

約2時間の原稿なしの講演は満席180人の聴衆がじつくりと耳を傾けて、ひとときの勉強会となったことと考えられます。

〔児童サービス 上條 哲〕

編集後記

「輝」13号をお届けいたします。水不足の心配される空梅雨傾向の今年ですが、お手元に届く頃は暑い夏になっていることと思います。

ボランティアの皆様と、図書館サイドとの円滑なコミュニケーションのお役に立てばと、頑張って編集いたしました。広報委員長の突然の都合で副委員長の戸惑いの中、他の委員の皆様の大絶大な協力でどうにか発行にこぎつけることが出来、感謝の気持ちで一杯です。

委員長の早い復帰を待っています。

〔土屋 純子〕

